中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き

中央区まちかど展示館

2020 Winter
Vol.09
銀座・京橋編 Part.2
TAKE FREE

世界に誇る職人技と文化がここに

銀座・京橋 Part.2

【特集】
銀座エリアの「通りと街路樹」を知ろう!

つくり続けて唯一無二の存在へ
まちかど展示館訪問

冬、華やぐ季節に訪れたい憧れのまち
銀座・京橋エリアMAP Part.2

【連載もついに最終回!】
フランス人銭湯大使の
中央区 銭湯の世界へ



Facebook公式ページ
f 中央区まちかど展示館

ホームページURL
https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp

季刊誌『中央区まちかど展示館』Information

既刊Vol.01〜Vol.08もダウンロードできます



Vol.01 日本橋編
Vol.02 銀座・京橋／月島編
Vol.03 総集編
Vol.04 月島編
Vol.05 日本橋編 Part.1
Vol.06 銀座・京橋編 Part.1
Vol.07 日本橋編 Part.2
Vol.08 日本橋編 Part.3

中央区まちかど展示館ウェブサイト
季刊誌ダウンロードページ

https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html

次号Vol.10は
日本橋編 part.4です。
江戸文化を今に伝える各展示館を訪問します。お楽しみに!

◎発行日：2020年12月4日
◎発行：中央区まちかど展示館運営協議会（中央区区民部文化・生涯学習課内） tel：03-3546-5346 mail：b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp
◎制作：Asaba & Co ◎デザイン：CAN DO CREATION ◎撮影：kt-design ◎文：秋元祐子 ◎イラスト：堀口珠美

キリトリ

POST CARD
〒 104-8404

恐れ入りますが
63円切手を
貼って
お出しください。

中央区築地1-1-1 中央区役所（文化・生涯学習課内）
中央区まちかど展示館運営協議会

中央区まちかど展示館アンケート 係行

差し支えない範囲でご記入ください。
お答えいただいた個人情報は、本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他に使用することはありません。

◎ご住所 〒
◎お名前
◎電話
◎性別 男・女
◎年齢
◎職業

銀座・京橋

通りと街路樹

銀座の街は徳川家康が造った町人地の町割（まちわり）を元にしているため、当時のまま現在も規則的なブロック状。多くの通りに愛称があり、覚えればとても分かりやすいのです。まずは主な通り名とそこに植えられた街路樹をマップで確認してみましょう。まち歩きの際は道端の木々にも目を向けて、いつもと違った楽しみ方をしてみませんか。

銀座八丁神社めぐり

※銀座八丁神社めぐり2019に参加した神社をご紹介

銀座には数々の小さな神社があることをご存知ですか？
例年11月に各社に巡礼して記念スタンプを集める催しが行われています（2020年は中止）。
この冬はイベントやお正月にこだわらず、人込みを避けて訪れてみましょう。

三密を避け、時期をずらしてゆっくりお参りするのがオススメ

①幸（さいわい）稲荷神社:銀座一丁目の並木通り
②龍光（りゅうこう）不動尊:松屋銀座の屋上
③朝日稲荷神社:大広朝日ビル屋上に本殿
④宝珠（ほうじゅ）稲荷神社:木挽町通り
⑤宝童（ほうどう）稲荷神社:銀座レンガ通りの路地
⑥銀座出世（しゅっせ）地蔵尊:銀座三越の9階
⑦歌舞伎稲荷神社:歌舞伎座の正面右側
⑧あづま稲荷神社:あづま通りの三原小路
⑨靄護（かくご）稲荷神社:GINZA SIXの屋上
⑩成功（せいこう）稲荷神社:通常は非公開
⑪豊岩（とよいわ）稲荷神社:銀座鈴らん通りの路地
⑫熊谷（くまがい）稲荷神社:花椿通り

一覧MAP



通り名を覚えるとまちが身近に。京橋界隈から銀座八丁目まで丸ごとご紹介。

銀座・京橋の「通り」を知るともっと楽しい！

銀座・京橋
通り名の由来

江戸時代以降、多様な魅力で人々を引き付けてきた銀座の通り。日本中から憧憬を集めるその名の由来を、過去の貴重な写真とともにご紹介します。

銀座通り（中央通り）

国道である中央通りが一般に銀座通りや銀座中央通りと呼ばれており、区や都が設定した愛称ではないとのこと。銀座の象徴として全国的に有名で、週末には歩行者天国が行われています。



銀座街道／「東京風景」（明治44年刊）



鉄道馬車走る銀座通り
（明治27年）

みゆき通り

明治天皇が築地にあった海軍学校等への行幸（みゆき）の際に通ったため、昭和12年に地元で呼称するように。昭和39年には流行のアイビールックに身を包んだ「みゆき族」と呼ばれる若者たちが闊歩しました。



銀座通り六丁目交差点～黒沢=カワセ洋装店～
（昭和32年）



銀座夜景／清水達允撮影
（昭和36年）

晴海通り

名称の由来は中央区晴海。数寄屋橋交番は待ち合わせ場所として有名です。街路樹にはケヤキが。

銀座鈴らん通り

お店がすずらんのように鈴なりで軒を連ねていたことと、かつて「すずらん灯」という街灯があったことから。



銀座鈴らん通り（昭和32年）

花椿通り

沿道にある資生堂が整備に尽力。昭和初期まで出雲町と呼ばれていたことから、島根県出雲市から贈られた出雲のヤブツバキが植えられました。



銀座の裏通り（昭和31年）

京橋
竹河岸通り

江戸で京橋川周辺に竹商人が多くいたことから竹河岸と呼ばれ、歌川広重の「名所江戸百景」にも描かれました。平成24年その記憶を残そうと愛称に。川は戦後埋め立てられ上に高速道路が。



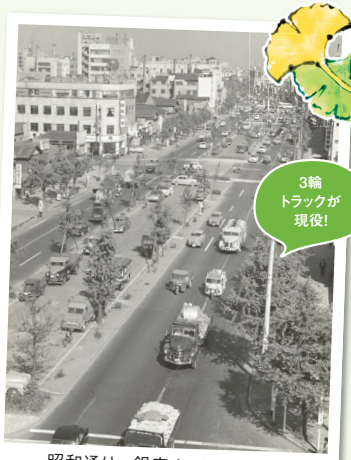
竹河岸～炭町～／「東京案内」
（明治40年）



京橋／資生堂版「銀座」
（大正10年刊）

昭和通り

関東大震災の復興事業として計画・建設された道路で、昭和通りの名は都が設定。立派なイチョウ並木が続きます。



昭和通り～銀座六・七丁目～／
宮沢正高撮影（昭和32年頃）



銀座七丁目～新橋組合附近～
（昭和54年）

見番通り

明治～昭和には新橋花柳界の芸妓や置屋が所属する「見番」があったため。見番通りにつながる西五番街の由来はニューヨークの五番街に西銀座の西を加えたもの。

演舞場通り

新橋演舞場があるため平成元年に区が設定。新橋演舞場は新橋芸者の技芸向上を披露する場として大正14年に開場。現在は3代目の建物。

西銀座通り（外堀通り）

都道の外堀通りが銀座エリアでは西銀座通りと呼ばれます。街路樹に植えられた柳が銀座らしい風情を演出。

並木通り

江戸初期の町名主・内山惣十郎が住んでいた旧名・惣十郎町に、後に西洋風の並木を植えました。

銀座柳通り

柳は明治10年頃銀座通りに植えられて以来、銀座のシンボルに。銀座柳通りの愛称は昭和63年中央区が設定。

写真提供：中央区立京橋図書館

江戸ほうき展示館

1830年創業、京橋竹河岸通りの「白木屋傳兵衛」で
エコで騒音の出ないほうきの〝現代力〟を発見！



京橋は江戸時代に竹河岸が近く、材料が仕入れやすい場所でした。ほうきの掛け糸の緑・赤・青は上・特上・極上という等級の目印。



麻糸を使い手で丹念に締めながら束ねることで独特の弾力が生まれます。



展示されている1/3サイズのほうき。小さいほうき草を探して本物と全く同じに製作。型見本として後世に残す意味も。

江戸ほうきの材料

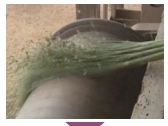
ほうき草（ホウキモロコシ）を使った製法や品質は江戸時代そのまま。現在は国産とインドネシア産を使い、細かに等級分けして製品を作ります。国内栽培の減少が進む中、生産技術を維持しようと直接栽培に取り組んでいます。



春に種をまく一年草。



夏に穂ができ手で収穫。



機械を使って脱穀。



煮沸をして天日干し。



ほうき職人が20等級程に選別、上位の物だけを使用。



柄は粘りの強い国産の黒竹。



昭和45年頃の建て替える前のお店の様子。



6代目店主の中村梅吉さんが現役の頃。引退後は江戸の歴史や文化を伝える活動を続けています。



インドネシア産の上質な草を使った手頃な江戸ほうきや、古来から使われてきた棕櫚（しゅろ）ぼうきも取り揃えています。



大掃除に活躍するタワシ。「江戸のほうき屋は古い棕櫚ぼうきを下取りし、バラしてタワシにして売っていたんです。なので伝統的にタワシも扱っています」（中村さん）



厚紙に柿渋を塗って作るちりとり「はりみ」。静電気がおきず埃がくっつかない。

棕櫚ぼうきは使い始めに繊維の粉が畳の目に入ってしまうため、畳のある長屋に住むようになったせっかちな江戸っ子が求めたのが江戸ほうきでした。

棕櫚ぼうき▶





デザイナー大治将典さんとコラボした、籐の柄がお洒落な「掛けほうき」。



右はサッシの溝掃除に適した硬めの小ぼうき。左はパンくず払いなどテーブル周りにちょうどいいサイズ。

片手用・両手用など、ほうきは用途で選べます。
先が摩耗したらハサミで少し揃えれば、5年以上使えますよ！



お話を伺った方
代表取締役 **中村 悟**さん

―お店の始まりは？

初代は元「水売り屋」だったようですが、銀座に畳表を商う店として創業しました。そこで畳用ほうきという当時の新商品を知り、〝今度はこれだな〟と京橋でほうき屋に転身しました。

―製法は昔と違いますか？

実はその頃の作り方とほとんど変わっていません。全部初代が確立し、しかも他の職人が同じ物を作るシステムまで開発しました。それが「草選り」で、まずほうき草を細かく等級分けするのです。うちのほうきは、ランクによりどの草を何本使ってどう編むか、すべて決まっています。選別作業が最も肝要な仕事で、職人は作業をしながらそれを10年かけて覚えるんです。

―ほうきの良さとは？

あまり知られていませんが、ほうきはじゅうたんの掃除にもおすすめです。本物の江戸ほうきは弾力があって掻き出しが効くので、掃除機を掛けた後に掃くとさらに埃が出てきます。じゅうたんの毛を傷めずゴミだけ取れる、電気を使わない、音が出ず夜も使える、排気がなく空気が汚れない、土に還る天然素材…と現代の問題点をすべてクリアしたエコな掃除道具なんです。手に取って掃いてみれば、コシがあって軽く使える江戸ほうきの良さや等級の違いを実感していただけます。

江戸ほうき展示館



管理者:株式会社
白木屋中村伝兵衛商店
（平成23年度認定）

東京都中央区京橋3-9-8
03-3563-1771
月～土曜日（祝日・年末年始等を除く）
10:00～19:00
Ⓐ宝町駅A3番出口 徒歩1分
Ⓞ京橋駅1番出口 徒歩2分
https://www.edohouki.com/
【年末年始の展示館および店舗の営業】
◎展示館にお問い合わせください

仏壇・仏具の歴史館

演舞場通りの安田松慶堂で、江戸仏師の技を見る。
仏壇・仏具の伝統と進化も目の当たりに。



展示コーナーは広いショールームの2階に。普段あまり見ることのないさまざまな仏壇や仏具も見学できます。



東京仏壇の特徴

昭和57年に認定を受けた東京都の伝統工芸品。唐木と呼ばれる高級輸入材が多く、ホゾ組といった江戸指物の技法を中心に手作業で製作されています。目立つ金具や金箔は使わず、彫刻と木目を活かした摺り漆仕上げが特徴。高級感がありながら丈夫で長持ちするとのこと。



現代の家に似合うタイプの東京仏壇。屋久杉の木目の美を追求した派手でない上質感にあふれ、まさに渋好みの江戸風。

―東京仏壇の始まりとは？

江戸幕府が仏教を保護して多くの寺院ができ、寺請制度によって一般の町民が仏壇を持つようになったと言われます。当初は造り付けの棚や飾りの少ない仏壇を指物師や仏師が作っていたようですが、1840年頃、初めて仏壇に黒檀、紫檀などの唐木材を使ったのが3代目の安田松慶で、それが東京仏壇の始まりと言われているのです。

―お寺の仏具については？

初代の安田松慶が1792年、近江国（滋賀県）から芝増上寺の大仏師として招かれたのが当社の始まりです。その後名字帯刀を許され、以来代々名前を受け継ぎながら、寺院仏具を多くのお寺に納めています。

―東京仏壇を選ぶポイントは？

仏壇には元々無垢板（天然木の1枚板）はあまり使われていないんです。無垢材はねじれたり反ったりしますので、しっかり四角形を保ち扉がきちんと閉まるように、あえて芯材に別の木を貼る「突板」を使います。木目が細かで質の良い材料を用意できるか、それをどう選んで美しく仕上げるか、そこに職人の違いが出ます。木目が活きる仏壇はその綺麗さにも注目して欲しいですね。今はマンションに適したサイズも豊富になりました。細かな祀り方は宗派でも違いますので、気軽に相談していただければと思います。

仏壇・仏具の歴史館



管理者：
株式会社安田松慶堂
（令和元年度認定）

東京都中央区銀座7-14-3　03-3542-5771
年末年始等を除く毎日　10:00～18:00
A N 東銀座駅4番出口 徒歩3分
G H M 銀座駅A3番出口 徒歩8分
E 築地市場駅A3出口 徒歩4分
http://www.yasuda-shokeido.co.jp/

【年末年始の展示館および店舗の営業】
◎年内:12/29(火)18:00まで
◎年始:1/4(月)10:00より



埼玉県三郷市にある自社工場では職人が寺院仏具を製作。「私の知る限り仏匠を抱える所は東京で2社となりました」と安田さん。





創業以来、荘厳（しょうごん）仏具と呼ぶ寺院仏具を手掛けています。展示には、昭和47年に芝増上寺の仏具を任された際の用命書や仏師が描いた設計図、彫刻見本など貴重な品が。



遺灰を少量納めて身に付けられるペンダントや香蘭社製のミニ骨壺など、今はお洒落に〝手元供養〟できる品も。



お墓に食べ物をお供えしにくい昨今、故人の好物はキャンドルで。食品メーカーとコラボしたお線香はその味の香りが漂います。



大正8年に発行した領収書が展示ケースの中に。



精緻に彫り上げられた仏像も。



お話を伺った方
8代目当主
安田 元慶さん

まちかど展示館訪問

渡邊木版画展示館

ブランドが立ち並ぶ並木通りに今も摺師が！
浮世絵の命を救った版元で木版画の魅力を堪能。



江戸時代の浮世絵　歌川広重「名所江戸百景」より
『びくにはし雪中』/1858年（復刻版）

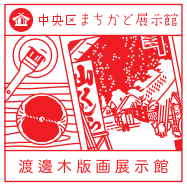
広重が通称“山くじら”で描く比丘尼橋は京橋川にあった橋。「“○やき”は焼き芋屋（○は切り口）、左は猪肉の山くじら屋。江戸時代でも薬食と言って食したそうです。」と渡邊さん。



今も同じ道具を使います。

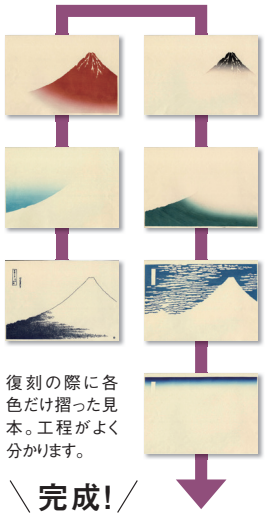


摺りの写真や木版画の道具を展示。



“赤富士”の摺りの工程

浮世絵では通常、最初に輪郭線を摺り、薄い色から各版をズレないように摺り重ねます。摺りの回数は15〜20数回が多いのに対し、この北斎の代表作ではたった7工程で雄大な富士の姿を表現。商業作品として手間を省きながら世界中で愛される偉大な芸術に！



復刻の際に各色だけ摺った見本。工程がよく分かります。

＼完成！／



葛飾北斎「富嶽三十六景」より
『凱風快晴』（復刻版）

―木版画にはどんなものが？

まずは江戸中期から盛んに作られた多色摺りの浮世絵版画、通称「錦絵」です。江戸の庶民向けの商品、エンターテイメントだったのですが、それが全国にも世界にも広まって芸術として評価されました。けれども明治末期には印刷や写真が広まり、錦絵の技術は絶滅寸前になったんです。浮世絵に魅せられた祖父の庄三郎はそんな明治42年に、彫師と摺師を抱えて版元として創業しまして、大正に入ると「新版画」という新しい浮世絵木版画を生み出すことに注力しました。

―新版画と浮世絵との違いは？

大きな違いは初めから芸術作品として世界に通用するものをめざしたことです。最初は日本画家がその依頼に応えてくれず、外国の画家であるカペラリやバートレットが絵師となって始め、その後伊東深水、川瀬巴水らが参加して世界で人気となりました。そこには洋画の構図等も取り入れてさまざまな技術革新があったんですね。新版画のおかげで浮世絵の命脈を少なくとも100年保つことができたと言われています。

―今扱っている作品は？

オリジナルの浮世絵や新版画のほかに、復刻版や現代作家の作品を当店で摺師が摺っています。版画に興味のある方はぜひお店を覗いてみてください。まず見るだけで結構ですので（笑）。





左）大正5年のお正月に店の前で撮った貴重な写真。中央の初代・渡邊庄三郎さんが明治42年京橋に創業。
右）京橋の店は関東大震災で作品や版木ごと全焼し大正14年に現在地で再開。昭和14年に建て替えた写真。



復刻版の浮世絵や新版画には手頃なサイズも多く額装もできます。インテリアとして選ぶ楽しみも。



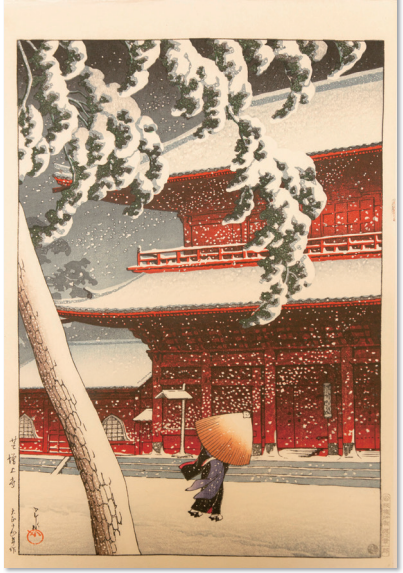
彫り、摺りまで作家が行う現代の創作版画作品も多彩。



取材時は来年のカレンダー摺りの真っ最中でした。（※工房は非公開）



お店の7階には今も摺りの工房があり、摺師が江戸時代からの技法で木版画を制作。バレンの技術も腕の見せ所！



創業者が生んだ新版画

川瀬巴水「東京二十景」より『芝増上寺』/
大正14年（復刻版）

作者は新版画を確立した画家として知られます。「増上寺の朱門をはすに大きく、松一株を近景にして、吹雪する中を傘をすぼめていく女ひとり。風のまにまに飛乱する雪片の景趣、雪にたわむ松の枝が風にゆれている。巴水全作品中での傑作。（渡邊さん）」

1867年のパリ万博で、幕府が5万5千枚の浮世絵をただで配り、それがジャポニズムのきっかけになったのでは？とも言われています。



お話を伺った方
3代目社長
渡邊 章一郎さん

渡邊木版画展示館

管理者：株式会社
渡邊木版美術画舗
（令和元年度認定）



東京都中央区銀座8-6-19　03-3571-4684
開 月〜土（年末年始等を除く）
時 月〜土／10:00〜18:00、祝／10:00〜17:00
交 JR A G 新橋駅3番出口 徒歩4分
G H M 銀座駅B3番出口 徒歩8分
https://www.hangasw.com/

【年末年始の展示館および店舗の営業】
◎年内：12/28（月）18:00まで
◎年始：1/7（木）10:00より

月光荘画材展示館

絵の具やグッズがぎっしり並ぶ花椿通りの画材店。
地下の展示館で創業者の偉業と人柄に触れて。



文化人と親交を持ち“月光荘おじさん”と愛された橋本兵蔵氏。画材づくりでも一切妥協を許さない人でした。



大正6年に新宿で開業。フランス人女性がスタッフに立つハイカラなお店でした。

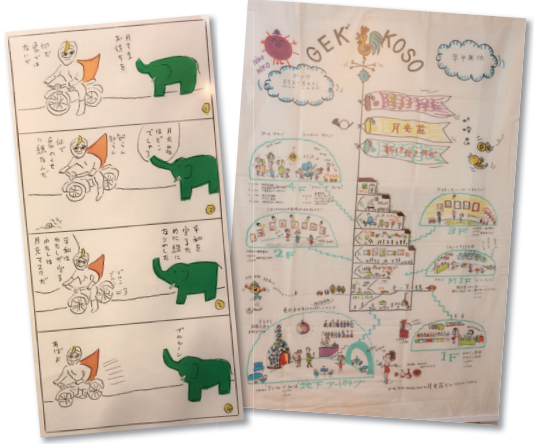


展示館はお洒落なカフェを併設♪

マークは“友を呼ぶホルン”



歌人の与謝野鉄幹・晶子夫妻が「月光荘」と名付けたとか。看板の字は与謝野晶子によるもの。



右）水森亜土さんが描いた昔の月光荘ビルを手拭いにしたもの。
左）月光荘のスケッチブックを愛用した安西水丸さんの作品も展示中。



スケッチブック、ポストカード等々手にしたい名品ばかり。

知る人ぞ知る「右手クリップ」や可愛らしい絵の具ピンバッチは来館の記念に。





お話を伺った方
広報
後藤 麻衣子さん

コバルトブルーの開発

洋画の画材はフランス製だった大正時代、創業者の橋本兵蔵氏が開発に着手。専門書を片っ端から読み、鉱物から青色コバルトの成分を取り出す実験を繰り返しました。川底の石をさらっては砕いて焼き、試行錯誤の連続。そして昭和15年、疎開先にてついにコバルトブルー顔料の抽出に成功、日本初の純国産油絵の具が完成!月光荘の創業23年目のことでした。



絵の具は現在も埼玉県にある自社工場で手作業により製造。



今も改良を重ねながら販売中。



戦後すぐのアルミ画箱も展示されています。猫柳色（シルバーグレー）のアルミ素材は、顔料が染み込まず、絵の具の色を長時間正確に捉えられると兵蔵氏が採用。



コバルトブルーの誕生を喜んだ猪熊弦一郎、中川一政ら10数名の画家達から贈られた寄せ書き。



展示品には戦時中の絵の具や月光荘の歴史を語る写真も。

中央区まちかど展示館
GEKKOSO
月光荘画材展示館

―銀座のお店はいつから？

戦後、銀座の泰明小学校前に店を再開し、その後何度か銀座で移転して平成18年に現在の花椿通りにオープンしました。泰明小前にあったビルには、水森亜土さんがイラストにしてくださったように地下にアートクラブがあり、多くの画家や愛好家が集まって夢を語り合ったそうです。〝月光荘おじさん〟と呼ばれた創業者も人とのつながりをとても大切にしていたんです。

―歴史ある商品も多いですね

創業者が独学で開発した油絵の具をはじめ、当店はオリジナル商品しか扱っていませんので、「小さい頃この画材を使っていました」「月光荘おじさんとよくお話ししたのよ」というお客様もいらして、お孫さんに同じ品を贈られたり…今年は自粛期間に絵の課題をするお子さんやちょっと描いてみようと始められた方も多いようです。サロン的な集まりは一時減りましたが、ネットの動画等を通じて新しい形の交流も生まれました。

―お店の包装紙がないとか？

今は有料で贈答用は用意していますが、包装にお金をかけない分、画材自体を少しでもお求めやすくご提供したいという創業以来の理念です。大正時代にエコの先取りですね（笑）。よろしければギャラリーのチラシの残りなどでお包みしていますよ。

月光荘画材展示館



管理者:株式会社
月光荘画材店
（令和元年度認定）

東京都中央区銀座8-7-2　03-3572-5605
㊡ 年末年始等を除く毎日　11:00～19:00
※喫茶室の営業はHPで確認してください。
JR A G 新橋駅3番出口 徒歩4分
G H M 銀座駅A1番出口 徒歩7分
http://gekkoso.jp/
【年末年始の展示館および店舗の営業】
◎年内:12/27（日）19:00まで
◎年始:1/4（月）11:00より

銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

かつては花柳界と和装の店で賑わった見番通りで、江戸べっ甲と和装の文化を今に伝え続けます。

―江戸べっ甲とは？

べっ甲のかんざしや和装小物は江戸発祥。江戸中期頃に長崎からべっ甲職人と共に製造技法が伝えられ、装身具として加工技術が洗練されました。今日、東京都と国の伝統工芸品に指定されている江戸べっ甲の始まりです。

―べっ甲製品づくりの状況は？

鎖国時代、長崎では日本を訪れる外国人にべっ甲の装飾品や調度品が大いに珍重されたと言います。現在は、ワシントン条約によって製品・原料とも国際取引が全面的に禁止されており、それ以前に輸入された在庫を使っています。また高齢化や廃業が続くべっ甲職人も気懸り。キモノは日常着から、一生のうち成人式、結婚式などの儀式で着る「特別な衣裳」となってしまい、さらにレンタルの波も。せめて小物はホンモノを次の世代に受け継いでいきたいという方には、べっ甲をおすすめします。

―べっ甲以外の品は？

和装小物の専門店が少なくなる中、うちは、頭の先からお足元まで肌着を含め一式を取り揃えています。価格もホンモノ志向からお求めやすいものまで。扇子は涼を取る紳士用・婦人用、黒留、色留袖用の末廣などTPOに合わせて京都から厳選し、本革の草履は独自に制作しています。何か和装小物でお困りの方はぜひお気軽にお尋ねください。



店内のショーケースに希少なべっ甲製品を展示。この「総白べっ甲花嫁かんざし一揃え」は、精緻な透かし彫りが本当に見事。ほかに工具や文献等も。（展示内容は不定期に変更）



べっ甲製品とは？

べっ甲はウミガメの一種、玳瑁（たいまい）の甲羅を材料とする天然素材。やや黄みがかった透き通る「白べっ甲」、黒光りする「黒べっ甲」、それらが交じったまだら模様の「茨布（ばらふ）べっ甲」の3種。中でも白べっ甲は甲羅全体のわずか10％程度と大変貴重です。製品化には、べっ甲の膠（にかわ）の性質を用いて、「水」と「熱」により何層にも重ね合わせ成形していきます。製造過程では一切化学物質を使わず、最後は土に帰ります。





これは何の字？店内には漢字の原型と言われる亀甲文字をモチーフにした書が飾られています。〈答えは「簪（かんざし）」〉



かなめ屋創業80周年に製作した白べっ甲彫りかんざし。近年のドラマ『黒革の手帖』では主演女優が身に着けていました。

黒べっ甲に金蒔絵や螺鈿（らでん）を施したかんざしは、黒留袖や準礼装に。







創業時から使う包装紙は祖父・兼秋さんが勾玉（まがたま）をイメージしてデザイン。それをモチーフに80周年に製作したべっ甲かんざしには、他に類を見ない青色金蒔絵に8石のダイヤが。

「かんざしの目利き」と言われた初代・柴田兼秋さん。当時見番通りには、芸者さんを乗せた人力車がずらっと連なっていたとか。





昭和20年前後のお店。2階は住居。周囲には置屋や芸者さんの家が多く、和装品の店も多数あったそう。



総べっ甲の扇子など貴重な品も展示。茨布の独特の柄が個性的！

今年注目を浴びた妖怪アマビエ様や、江戸時代にコレラの流行を予言したという霊獣ヨゲンノトリを手描きした、オリジナルの男性扇子。



小風呂敷や匂い袋、根付など可愛らしい小物も。



細長い店内に頭から足先までの和装小物が揃います。本革を使った草履の品揃えも充実。店内奥の看板は初代の頃の店先にあったもの。



祖父の代から「かなめ屋のかんざし」といえば有名で、今でも地方の花柳界の方がいらっしゃいます。

お話を伺った方
3代目店主
柴田 光治さん

銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
管理者：株式会社かなめ屋柴田
（平成30年度認定）



東京都中央区銀座8-7-18（見番通り）
03-3571-1715　休 月～土（祝日・年末年始等を除く）
平日／11:00～20:30、土／12:00～19:00
G H M 銀座駅B3番出口 徒歩5分
JR A G 新橋駅銀座口 徒歩3分
https://www.kanameya.co.jp/
【年末年始の展示館および店舗の営業】
◎年内：12/29（火）20:30まで
◎年始：1/4（月）11:00より

冬も行きたい！素敵なまちへ

銀座・京橋エリア散策MAP

今回は京橋から銀座8丁目までぐるっとご紹介。
日本を代表する憧れのまちがさらに華やぐこの季節、
新たなお気に入りを探してみませんか？



06 泰明庵（たいめいあん）

>> P19

魚屋を営んでいた店主が昭和32年に開業。お品書きがズラッと貼られた懐かしい雰囲気の店内には、昼食の人や“蕎麦呑み”の人が次から次へ。銀座の地元で愛され続ける居心地のいい蕎麦屋さんです。



05 銀座ボーグ 帽子サロン

>> P19

昭和7年に銀座で創業した手作りの帽子専門店。エレガントで遊び心あふれる1点物の帽子が揃います。工房を併設、サイズ調整や修理はもちろんすべて相談して作り上げるフルオーダーもできます。



07 月光荘サロン 月のはなれ

>> P19

月光荘画材店がビルの屋上をリノベーション、昼は風そよぐカフェ、夜は生演奏もあるバーとして運営。壁にはアートが展示販売され、コンパクトな中にさまざまな面白さがギュッと詰まったお店です。



渡邊木版画展示館
>> P10



月光荘画材展示館
>> P12



銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
>> P14



04 ジャッジョーロ銀座

>> P19

フィレンツェにある世界最古の薬局「サンタ・マリア・ノヴェッラ」の考えを取り入れた、ヘルシーなトスカーナ料理が人気のリストランテ。身体に優しい料理で、心身ともに満たされるひとときを。



仏壇・仏具の歴史館
>> P8



03 新世界グリル梵（ぼん） 銀座店

>> P18

大阪の老舗洋食店「梵」が10年程前に開いた牛ヒレカツサンドの専門店。注文を受けてから作る極上カツサンドはレア度も絶妙！持ち帰りの方も多いけれど、カウンターで出来立てを味わいたい至福の味。



江戸ほうき展示館
>> P6

01 きむら

>> P18

とんかつ定食が人気の老舗。お昼は近隣にお勤めの方ですぐ満席に。毎日新鮮な油でカラリと揚がった揚げ物は、ボリューム満点でも重くなく皆さん完食。リピーターの多さも納得の美味しさです。



02 京はし 満津金（まつきん）

>> P18

昭和6年創業の金陽社印刷所が、京橋の伝統と粋を発信しようと開設。店主の細田さんも愛してやまない町火消しなどの江戸文化が、一筆箋やポチ袋、しおり等のオリジナル商品に描かれています。



銀座・京橋エリア散策

おすすめスポット

心意気とこだわりがキラリと光るお店ばかり。
展示館の行き帰りに立ち寄れば、
このエリアがますます好きになりそう！


6


4


2


7



5


3


1

まちかど展示館の皆さんから おすすめスポットをご紹介します！

7 月光荘画材展示館

後藤さんおすすめ

美味しさ、アート、音楽と魅力満載の屋上カフェバー

1階のインターホンで空席を確認し階段で5階へ。緑に囲まれた半野天の空間は別荘のような心地良さ。プルドポークライス等のランチは平日17時まで。お絵描きセットを頼めばお店で絵も描けちゃいます。

月光荘サロン 月のはなれ
◎住所／中央区銀座8-7-18 月光荘ビル5F
◎TEL／03-6228-5189
◎営業時間／月～土12:00～23:00(LO22:00)、日祝12:00～21:00(LO20:00)
◎無休

6 渡邊木版画展示館

渡邊さんおすすめ

ずっと通い続けたい昭和が香る蕎麦居酒屋

銀座らしからぬ大盛りのそばを利尻昆布、宗田節等の天然出汁を使った濃い目のつゆで。産地にこだわったセリ等の青菜やてんぷらも美味しく、肴になる一品料理も豊富。幸せな昼の一杯も気軽にどうぞ。

泰明庵(たいめいあん)
◎住所／中央区銀座6-3-14
◎TEL／03-3571-0840
◎営業時間／月～金11:30～21:00(LO20:30)、土11:30～15:00(LO14:40)
◎日・祝定休

5 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

柴田さんおすすめ

心躍る手作りの帽子たち着物に似合う男性用も

代々受け継がれた道具を使って1点1点作られる帽子は政治家や著名人も愛用。今なら冬の外出にフェルトの可愛い帽子が色とりどり♪帽子職人でもある4代目店主の自由なセンスに魅了されます。

銀座ボーグ帽子サロン
◎住所／中央区銀座5-3-12 壹番館ビルディング4F
◎TEL／03-3572-1901
◎営業時間／11:00～19:00
◎火定休

4 中央区まちかど展示館

制作スタッフおすすめ

シックな大人の空間で体に優しいランチの贅沢

鮮度や産地など細部まで吟味した安心な食材をシンプルな調理法で。素材本来の味が活きる料理は何を食べても舌鼓。15種類のハーブを使用した名物サラダが付くランチは、ちょっとお洒落してゆっくり味わいたい。

ジャッジョーロ銀座
◎住所／中央区銀座7-10-5 The ORB Luminous B1F
◎TEL／03-5537-2233
◎営業時間／11:30～14:30(LO13:00)、18:00～22:00(LO20:00)
◎日定休および月不定休

3 仏壇・仏具の歴史館

安田さんおすすめ

ビーフヘレカツサンドの極上の味で自分にご褒美

柔らかなカツはチルドの牛ヒレ肉をパンの耳で作る自家製パン粉でサクッと揚げたもの。こだわりの食パンやお店でじっくり煮込んだ特製ソースとも相性抜群。食べ応えのある1人前は老若男女に大人気です。

新世界グリル梵(ぼん)銀座店
◎住所／中央区銀座7-14-1
◎TEL／03-5565-3386
◎営業時間／11:00～21:00
◎日・祝定休

2 中央区まちかど展示館

制作スタッフおすすめ

江戸町火消しの粋を年末年始の贈り物にぜひ

絵師の岡田親(ちかし)さんが描く町火消しのカレンダーや備忘録のノート、名入れのできる錦絵等々、洒落心にあふれる逸品揃いです。江戸文化に詳しい店主にお話を聞きながらお気に入りを探したい。

京はし 満津金(まつきん)
◎住所／中央区京橋2-6-5
◎TEL／080-3543-2668
◎営業時間／12:00～18:00
◎日・月・祝定休

1 江戸ほうき展示館

中村さんおすすめ

昼は街のとんかつやさん夜は和洋料理でお酒も

ミックスフライ定食等、ランチでは新潟産のつやつやご飯や山盛りキャベツが2回までお代わりOK♪厳選された茶葉を使った紅茶付きなのも嬉しい。ホッとする美味しさに会える、ご家族で営む京橋の名店。

きむら
◎住所／中央区京橋3-6-2
◎TEL／03-3561-0912
◎営業時間／11:30～13:30、17:30～21:00(2Fは夜のみ)
◎土・日・祝定休

◎年末年始の休業日は各店へお問い合わせください。
◎新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休業や営業時間の変更を行う場合があります。詳しくは各店へお問い合わせください。

【連載 第五回】中央区 銭湯の世界へ

【銀座エリア編】

非日常の空間で、心と体のリセット

いよいよ連載も最後となりました。日本の素敵な銭湯文化の魅力を、少しでもお伝えできていればとても嬉しく思います。

銭湯は体の汚れのみならず、日々の疲れや嫌なことを綺麗さっぱり洗い流すことができます。

実は私も銭湯でフロントのお手伝いをしていますが、お客様の顔はお風呂に入る前と後では全く違っていて、湯上り後の表情はとても朗らかになっています。

心の健康にも効果のある銭湯ですが、今回は、銀座を挟むように建つ2軒の銭湯をご紹介します。







金春湯

「古き良き」と「モダン」が調和した空間

場所は日本有数の高級商業施設が軒を連ねる銀座通りから1本入った金春通り。開業はなんと1863年（文久3年）で、1945年に現店主の横山さん（3代目）の祖父が経営を引き継ぎ今に至ります。浴槽側の壁面は、男女ともに富士山のペンキ絵と、縁起の良い12匹の鯉が描かれたタイル画。そしてカラン側は四季の花々のタイル画が浴室全体をとても華やかに彩っています。脱衣場には、大正時代から受け継がれてきた神棚があり、都会の真ん中にあるとは思えないほどの懐かしさを感じます。一方で、女性の脱衣場には花が飾られ、高性能ドライヤーやアロマディフューザーなどが設置され、現代の快適さなど、ご主人のこだわりと気配りを感じるとても素敵な銭湯です。

金春湯（こんぱるゆ）

◎住所／中央区銀座8-7-5　◎TEL／03-3571-5469
◎営業時間／14:00～22:00、
土曜日のみ14:00～20:00　◎定休日／日・祝
◎交通／東京メトロ銀座線銀座駅より徒歩5分、
JR新橋駅より徒歩5分

ステファニー・コロイン
銭湯ジャーナリスト／銭湯大使（日本銭湯文化協会公認）

南フランス出身。日本文学に興味を持ち留学で来日した際、初めて銭湯と出会う。現在は、銭湯文化を世界中に広めるためブログやインスタグラムで銭湯の情報を発信。日本全国の銭湯を巡り、テレビやラジオの出演も行う。これまでに行った銭湯は800軒以上。2018年夏に新刊『フランス女子の東京銭湯めぐり』（株式会社G.B.）を出版。
WEB:dokodemosento.com
Instagram:@_stephaniemelanie_



文・写真／ステファニー・コロイン









銀座湯

浴槽から眺める隅田川の花火と銀座の景色

京橋駅・宝町駅から徒歩3分、銀座一丁目にあるビル型の銭湯です。のれんをくぐると番台がありますが、1階が女湯で2階が男湯とユニークなつくりになっています。下駄箱の一部にはブーツも入るので、冬場は嬉しいですね。特に目を引くのは繊細なモザイクタイル絵。女性側は夜空に打ち上げられた隅田川の花火が、男性側には銀座四丁目交差点の綺麗な夜景があります。特に、和光本館を中心とした銀座四丁目のタイル絵は遠目では写真と見間違うほど。そしてこだわりを感じるのは、清潔さ。床のタイルの目地も真っ白でカランも鏡もピカピカなので、お風呂も一層気持ち良く感じます。お買い物や食事を楽しんだ帰りにリフレッシュするのが、おすすめですよ。

銀座湯（ぎんざゆ）

◎住所／中央区銀座1-12-2　◎TEL／03-3561-2550
◎営業時間／15:00～23:00（23:00で完全閉店）
◎定休日／日・祝
◎交通／都営浅草線宝町駅A4番出口より徒歩2分、
東京メトロ銀座線京橋駅1番出口より徒歩3分

まちかど展示館

江戸開府以来400年以上の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介しています。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様に広く知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

銀座・京橋エリア

① 江戸ほうき展示館
東京都中央区京橋3-9-8 ／ 03-3563-1771
月～土曜日（祝日・年末年始等を除く） ／ 10:00～19:00
年末年始の営業 ◎展示館にお問い合わせください

② 仏壇・仏具の歴史館
東京都中央区銀座7-14-3 ／ 03-3542-5771
年末年始等を除く毎日 ／ 10:00～18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/29(火)まで ◎年始:1/4(月)から

③ 渡邊木版画展示館
東京都中央区銀座8-6-19 ／ 03-3571-4684
月～土曜日(年末年始等を除く) ／ 月～土10:00～18:00 祝日10:00～17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(月)まで ◎年始:1/7(木)から

④ 月光荘画材展示館
東京都中央区銀座8-7-2 ／ 03-3572-5605
年末年始等を除く毎日 ／ 11:00～19:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(日)まで ◎年始:1/4(月)から

⑤ 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
東京都中央区銀座8-7-18 ／ 03-3571-1715
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) ／ 平日11:00～20:30 土曜12:00～19:00
年末年始の営業 ◎年末:12/29(火)まで ◎年始:1/4(月)から

⑥ 足袋の博物館
東京都中央区新富2-2-1 ／ 03-3551-0896
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) ／ 9:00～17:00
年末年始の営業 ◎展示館にお問い合わせください

⑦ ミズノプリンティングミュージアム
東京都中央区入船2-9-2 ／ 03-3551-7595
月曜日(祝日・年末年始等を除く)※要予約 ／ 10:00～16:00
(2021年3月末日まで休館)

⑧ 松竹大谷図書館
東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F ／ 03-5550-1694
月～金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く) ／ 10:00～17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/24(木)まで ◎年始:1/12(火)から

⑨ のれん・提灯・下絵の展示館
東京都中央区築地6-5-5 ／ 03-3541-3741
月～土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) ／ 7:30～17:30
年末年始の営業 ◎年末:12/19(土)まで ◎年始:1/21(木)から

日本橋エリア

⑩ 楊枝資料館
東京都中央区日本橋室町1-12-5 ／ 03-5542-1905
月～土曜日(祝日を除く) ／ 10:00～18:00
年末年始の営業 ◎展示館にお問い合わせください

⑪ Daiichi Sankyo くすりミュージアム
東京都中央区日本橋本町3-5-1 ／ 03-6225-1133
火～日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く) ／ 10:00～18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/29(火)まで ◎年始:1/5(火)から

⑫ 小津史料館
東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル ／ 03-3662-1184
月～土曜日(年末年始等を除く) ／ 10:00～18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(日)まで ◎年始:1/4(月)から

※臨時休館や新型コロナウイルス感染症対策などのため開館時間が短縮の場合があります。詳しくは各館にお問い合わせください。

スタンプを設置している展示館です。

日本橋エリア

⑬ 伊場仙浮世絵ミュージアム
東京都中央区日本橋小舟町4-1 ／ 03-3664-9261
年末年始を除く毎日 ／ 8:00～20:00
(店舗は10:00～18:00 ／ 月～金曜日)
年末年始の営業 ◎年末:12/28(月)まで ◎年始:1/5(火)から

⑭ 小伝馬町牢屋敷展示館
東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 ／
03-3546-5346（中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00）
年末年始等を除く毎日 ／ 9:00～20:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(月)まで ◎年始:1/4(月)から

⑮ 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館
東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 ／ 03-3664-5671
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) ／ 9:00～17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(月)まで ◎年始:1/5(火)から

⑯ イチマス田源 呉服問屋ミュージアム
東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 ／ 03-3661-9351
年末年始等を除く毎日(不定休あり) ／ 10:00～17:30
年末年始の営業 ◎年末:12/27(日)まで ◎年始:1/6(水)から

⑰ 江戸東京組紐 龍工房体験展示館
東京都中央区日本橋富沢町4-11 ／ 03-3664-2031
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)※要予約 ／ 11:00～16:00
年末年始の営業 ◎展示館にお問い合わせください

⑱ つづら学習館 ※つづら制作のため入店できない場合があります
東京都中央区日本橋人形町2-10-1 ／ 03-3668-6058
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) ／ 10:00～17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(月)まで ◎年始:1/6(水)から

⑲ ゆかた博物館
東京都中央区日本橋人形町3-4-7 ／ 03-3661-8859
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)※要予約 ／
①15:00～②16:00～(2部制)（当面の間、臨時休館）

⑳ 箱崎町箱四町会神輿庫
東京都中央区日本橋箱崎町26-1 ／
03-5962-3137(月・水・金曜日 10:00～16:00)
通年 ／ 8:00～18:00

㉑ 染物展示館・虎の檻
東京都中央区日本橋浜町2-45-6 ／ 03-3666-5562
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) ／ 9:00～18:00(土曜日のみ17:00)
年末年始の営業 ◎年末:12/28(月)まで ◎年始:1/5(火)から

㉒ 江戸表具展示館
東京都中央区日本橋浜町2-48-7 ／ 03-3666-6494
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) ／ 9:00～18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(日)まで ◎年始:1/6(水)から

㉓ 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
東京都中央区日本橋1-19-1 ／ 03-3278-6611
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) ／ 平日7:30～19:30 土曜7:30～13:30
年末年始の営業 ◎年末:12/30(水)まで ◎年始:1/4(月)から

㉔ 聚玉文庫ギャラリー
東京都中央区日本橋2-7-1 ／ 03-3272-3801
通年(祝日・年末年始・盆休みを除く) ／ 10:00～18:30(土日は17:30まで)
年末年始の営業 ◎年末:12/30(水)まで ◎年始:1/4(月)から

㉕ 兜町・茅場町まちかど展示館
東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 ／ 090-2465-4001(10:00～19:00)
通年 ／ 8:30～20:00(2021年7月末まで休館)

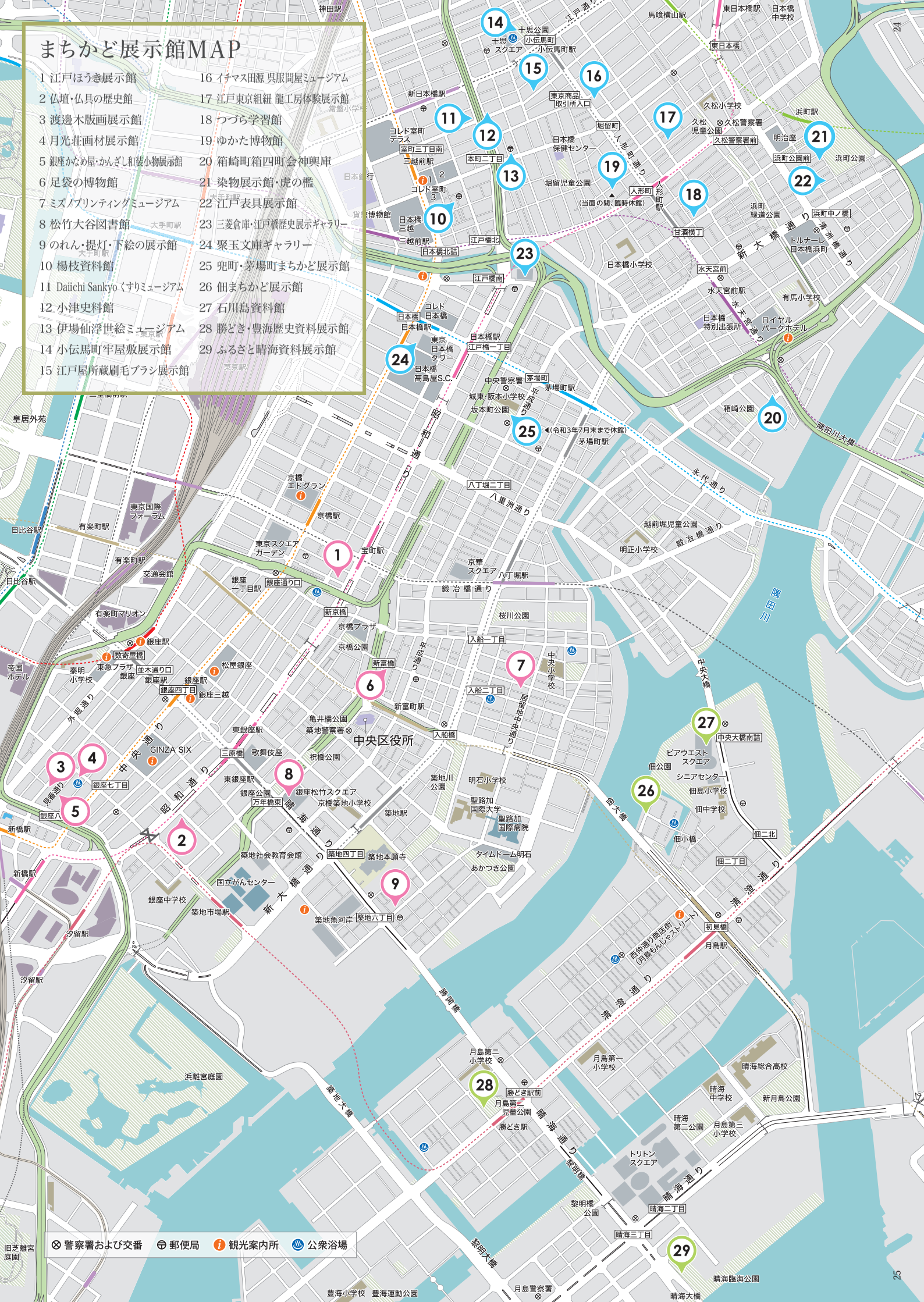
月島エリア

㉖ 佃まちかど展示館
東京都中央区佃1-2-10先 ／
03-3546-5346（中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00）
通年 ／ 常時開館

㉗ 石川島資料館
東京都中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア1F ／ 03-5548-2571
水・土曜日(年末年始等を除く) ／
10:00～12:00、13:00～17:00(入館は16:30まで)
年末年始の営業 ◎年末:12/26(土)まで ◎年始:1/6(水)から

㉘ 勝どき・豊海歴史資料展示館
東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 ／
03-3531-0092(11:00～16:00) 090-3529-3712(11:00～16:00)
毎月 第2土・日曜日 ／ 10:00～16:00

㉙ ふるさと晴海資料展示館
東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 ／
080-7723-3158(11:00～16:00)
通年 ／ 常時開館


まちかど展示館MAP
1 江戸ほうき展示館
2 仏壇・仏具の歴史館
3 渡邊木版画展示館
4 月光荘画材展示館
5 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
6 足袋の博物館
7 ミズノプリンティングミュージアム
8 松竹大谷図書館
9 のれん・提灯・下絵の展示館
10 楊枝資料館
11 Daiichi Sankyo くすりミュージアム
12 小津史料館
13 伊場仙浮世絵ミュージアム
14 小伝馬町牢屋敷展示館
15 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館
16 イチマス田源 呉服問屋ミュージアム
17 江戸東京組紐 龍工房体験展示館
18 つづら学習館
19 ゆかた博物館
20 箱崎町箱四町会神輿庫
21 染物展示館・虎の檻
22 江戸表具展示館
23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
24 聚玉文庫ギャラリー
25 兜町・茅場町まちかど展示館
26 佃まちかど展示館
27 石川島資料館
28 勝どき・豊海歴史資料展示館
29 ふるさと晴海資料展示館
⊗ 警察署および交番
〒 郵便局
i 観光案内所
公衆浴場
昭和通り
中央通り
外堀通り
新大橋通り
清洲橋通り
永代通り
八重洲通り
鍛冶橋通り
平成通り
晴海通り
隅田川
中央区役所
東京駅
日本橋駅
銀座駅
新橋駅
築地駅
月島駅
有楽町駅
茅場町駅
八丁堀駅
浜町駅
人形町駅
東日本橋駅
馬喰横山駅
小伝馬町駅
新日本橋駅
本町二丁目
堀留町
久松警察署前
浜町公園前
水天宮前
江戸橋北
日本橋北詰
江戸橋南
日本橋一丁目
茅場町
入船一丁目
入船二丁目
入船橋
新京橋
新富橋
京橋公園
京橋プラザ
京橋エドグラン
東京スクエアガーデン
銀座一丁目駅
銀座通り口
並木通り口
銀座四丁目
銀座三越
松屋銀座
東急プラザ銀座
数寄屋橋
有楽町マリオン
交通会館
東京国際フォーラム
日比谷駅
皇居外苑
宝町駅
京華スクエア
桜川公園
越前堀児童公園
明正小学校
中央大橋
中央大橋南詰
ビアウエストスクエア
佃公園
シニアセンター
佃島小学校
佃中学校
佃小橋
佃二北
佃二丁目
佃大橋
隅田川大橋
永代通り
鍛冶橋通り
平成通り
居留地中央通り
亀井橋公園
築地警察署
中央区役所
東銀座駅
三原橋
歌舞伎座
祝橋公園
GINZA SIX
銀座七丁目
銀座八丁目
銀座公園
銀座松竹スクエア
万年橋東
京橋築地小学校
築地川公園
明石小学校
聖路加国際大学
聖路加国際病院
タイムドーム明石
あかつき公園
築地本願寺
築地四丁目
築地六丁目
築地社会教育会館
国立がんセンター
銀座中学校
築地市場駅
築地魚河岸
新橋駅
汐留駅
浜離宮庭園
旧芝離宮庭園
勝鬨橋
築地大橋
勝どき駅前
月島第二小学校
月島第一小学校
月島第二児童公園
勝どき駅
晴海総合高校
晴海中学校
新月島公園
晴海第二公園
月島第三小学校
トリトンスクエア
晴海二丁目
晴海三丁目
黎明橋
黎明橋公園
黎明大橋
晴海臨海公園
晴海大橋
月島警察署
豊海小学校
豊海運動公園
西仲通り商店街（月島もんじゃストリート）
初見橋
清澄通り
浜町中ノ橋
浜町緑道公園
甘酒横丁
日本橋小学校
日本橋特別出張所
ロイヤルパークホテル
有馬小学校
箱崎公園
日本橋保健センター
東京商品取引所入口
久松小学校
久松児童公園
明治座
日本橋三越
コレド室町テラス
コレド日本橋
東京日本橋タワー
日本橋高島屋S.C.
中央警察署
城東・阪本小学校
坂本町公園
堀留児童公園
（当面の間、臨時休館）
◀（令和3年7月末まで休館）
十思公園
十思スクエア
神田駅
皇居外苑
241
25

アンケートにお答えいただいた方から

抽選で毎月5名様に
まちかど展示館オリジナルグッズをプレゼント!

本誌のアンケートはがきまたはまちかど展示館ホームページにあるアンケートフォームでアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で毎月5名様に、素敵なプレゼントを差し上げます。どうぞお気軽に本誌へのご意見やご感想をお寄せください。

■応募締切とプレゼントの発送

毎月末日(当日消印有効)。当選者様へは、翌月10日前後にプレゼントを発送します。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※アンケートにご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送やご記入者様への諸連絡、また個人が特定できない統計資料の作成に利用させていただきます。個人情報は厳重に管理し、第三者への提供・開示はいたしません。

■アンケートに関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会(中央区文化・生涯学習課内)　TEL.03-3546-5346

キリトリ

1.本季刊誌をどこでお知りになりましたか?
またはどこでお手に取りましたか?　※複数回答可

1.まちかど展示館　2.まちかど展示館HP・Facebook
3.観光情報センター　4.区施設　5.区内飲食店、商業施設等
6.駅ラック(　　駅)　7.その他(　　)

2.本季刊誌のVol.1～8をご存知ですか?

1.はい　2.いいえ

3.記載の「まちかど展示館」に訪れたことはありますか?

1.はい(展示館名:　　)　2.いいえ

3.訪れた展示館名を教えてください。

4.今後、取り上げて欲しいテーマや内容はありますか?

5.本季刊誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

キリトリ



中央区まちかど展示館
オリジナルスタンプラリー



新しくなった「まちかど展示館パンフレット」P31～P33に掲載のオリジナルスタンプラリーに参加してみませんか。29館のスタンプをすべて集めるとコンプリート特典をプレゼントしています。なお、プレゼントをお選びいただくことはできませんのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためご協力ください

- 体調のすぐれない方や発熱(37.5℃以上)のある方は来館をご遠慮ください。
- 展示館への訪問時は必ずマスクを着用してください。
- 消毒液が展示館内に設置されている場合は必ず手指の消毒を行ってください。
- 来館者数を制限するため、入場をお断りする場合があります。



■ご注意

展示館内にスタンプを設置していない下記の6館と、スタンプの押印を休止している展示館については、中央区まちかど展示館協議会事務局(区役所8階 文化・生涯学習課)で押印します。
⑳箱崎町箱四町会神輿庫 ㉓三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー ㉕兜町・茅場町まちかど展示館
㉖佃まちかど展示館 ㉘勝どき・豊海歴史資料展示館 ㉙ふるさと晴海資料展示館
●臨時休館や新型コロナウイルス感染症対策などのため開館時間を変更している場合があります。

■応募方法

◉メールの場合　メールアドレス b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

スタンプシートのスタンプ全部が写るように撮影し、メール本文にお名前、年齢、住所、電話番号、職業または学校名、メールアドレスを記載してください。

◉持参する場合

下記応募先に押印済みのスタンプシートを持参してください。

※今回の応募を利用された際の個人情報は、当イベント以外の目的で使用することはありません。





ミニほうき
江戸ほうき展示館



ポストカードブックセット
月光荘画材展示館



ブックカバー
松竹大谷図書館



携帯用メガネクロス
小津史料館

※写真は特典の一部です。

■中央区まちかど展示館ホームページ ▶ https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp

■facebook公式ページ ▶ 中央区まちかど展示館

■まちかど展示館スタンプに関するお問い合わせ・応募先
中央区まちかど展示館運営協議会　中央区築地1-1-1 中央区役所
TEL.03-3546-5346(中央区文化・生涯学習課内)